



発行所
 社団法人
 神奈川県造園業協会
 横浜市中区常盤町2-10
 伸光ビル2階〒231-0014
 電話 (045) 662-8793
 662-1767
 FAX (045) 662-4381
 年間購読料 3,150円
 (郵送料を含む)
 ただし会員の購読料は会費に含まれています。



<http://www.kanagawazoen.or.jp>

神奈川県地球温暖化対策推進条例の制定について

神奈川県地球温暖化対策推進条例の制定について

神奈川県 環境農政部 環境計画課



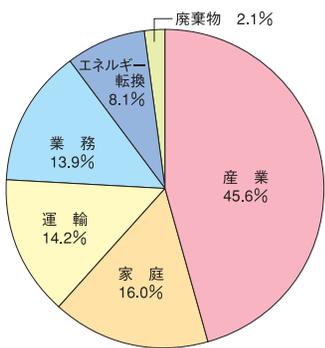
神奈川県地球温暖化対策推進条例は、平成21年7月17日に公布され、平成21年10月1日(一部の規定は平成22年4月1日)から施行されます。

I 条例制定の背景

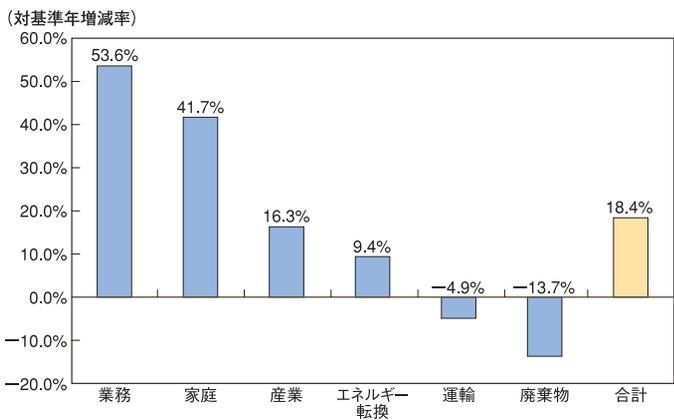
神奈川県では、2006年に改定した地球温暖化対策地域推進計画に「2010年の県内の二酸化炭素総排出量を1990年の水準まで削減する」という目標を掲げ、様々な地球温暖化対策を進めてまいりました。しかし、神奈川県内の二酸化炭素排出量は、2007年には1990年比で11.9%(速報値)増加しており、排出量の約半分を占める産業部門(図1)及び大きな伸びを示している業務部門(図2)に対する対策をはじめ、一層の取組みの強化が必要となっています。

そこで、神奈川の地域特性を踏まえた、実効性のある対策などを盛り込んだ

【図1】 県内CO2排出量の部門別割合【(2007年速報値)】



【図2】 県内CO2排出量の部門別伸び率【(対1990年比、2007年速報値)】



の提出を義務づけ、それを県が公表する制度を



森林の整備 (間伐作業)

「神奈川県地球温暖化対策推進条例」を制定いたしました。

II 条例の基本的な考え方

神奈川県地球温暖化対策推進条例は、事業者や県民などの全ての主体による取り組みを推進、各主体相互の連携・協働を促進、本県が環境問題に積極的に取り組んできた経験とこれを支えた人材、高度な技術を有する産業の集積などの神奈川の先進性・優位性の活用という、3つの基本的な考え方に基づいています。

III 条例の主な内容

条例には多くの規定がありますが、紙面に限りがありますので、ここでは3つの新たな計画書制度と、造園業協会の皆様に関係の深い森林、緑地の整備についてご紹介します。

条例にはこれら以外にも、公共交通機関等の利用の推進、温室効果ガスの排出量の少ない自動車等の使用

の推進、生活様式等の転換の推進などが定められています。(3つの計画書制度に関する規定は平成22年4月1日から施行)

一定規模以上の特定大規模事業者(前年度の原油換算工

一定規模以上の特定建築物(新築、改築又は増築に係る延べ床面積が5千㎡を超えるもの)を建築する特定建築主を対象に、特定建築物に係る地球温暖化対策の措置やその措置の評価等を記載した計画書の県への提出を義務づけ、それを県が公表する制度を導入する。

特定開発事業に対する温暖化対策(特定開発事業温暖化対策計画書制度)

一定規模以上の特定開発事業(1万㎡以上の区域において、床面積の合計が5千㎡を超える建築物の新築を目的として実施する開発事業)を行う特定開発事業者を対象に、エネルギーの共同利用や自動車利用の抑制措置等を記載した計画書の県への提出を義務づけ、それを県が公表する制度を

IV 今後の取組み

今後はこの条例に基づき、地球温暖化対策に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、地域の地球温暖化対策の基本方針や県内における温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標などを盛り込んだ「地球温暖化対策計画」を策定し、様々な施策を推進してまいります。

※お問い合わせは、県環境計画課(TEL 045-210-4076)まで

導入する。

森林等の整備、保全等
 県、森林所有者、民間団体等は、連携・協働して、森林の適切な整備及び保全並びに県内産の木材その他の森林資源の利用の推進に努める。県及び民間団体等は、連携・協働して、緑地の保全及び緑化の推進に努める。



客室数50室/宴会場12
 中国料理 上海酒家
 レストランヴァンセーヌ
 バーオーク/ティールounge



ホテル横浜ガーデン

HOTEL YOKOHAMA GARDEN

〒231-0023 横浜市中区山下町254番地
TEL.045-641-1311

横浜スタジアム前

湘南ホテルマネジメント株式会社 藤沢グランドホテル

社団法人神奈川県造園業協会第三十五回通常総会開催

岸本新会長選任、更なる発展に向けて



新正副会長紹介

第三十五回(社)神奈川県造園業協会通常総会が五月二十二日ホテル横浜ガーデンに於いて出席者百五十一名委任状二百四十通のもと開催されました。

岸本副会長の司会で始まり石川副会長の開会の言葉、鈴木一松会長挨拶の後、第三十三回会長表彰が行われ、技能功労者二十一名を代表して(株)誠和緑化石田誠様、優秀技能者三十名を代表して(有)A・F・A樹

芸21内藤研二様、青年優秀技能者八名を代表して(株)野井造園洲本義寿様に記念品、表彰状が鈴木会長より授与されました。

これからの益々のご活躍をご期待いたします。

次いで、小山副会長が議長に選出され、第一号議案平成二十年度事業報告、第二号議案平成二十年度収支決算報告及び監査報告が一括審議され、満場一致で承認されました。

感謝と敬意を表する言葉が添えられて感謝状と記念品が贈呈されました。

続いて、鈴木前会長による退任挨拶、岸本新会長による就任挨拶の後高橋副会長の閉会の言葉で通常総会は終了しました。

その後「みどりを創り、育てる」集いが盛大に開催されました。

神奈川県造園業協同組合 平成二十一年 通常総会開催

神奈川県造園業協同組合通常総会が五月二十二日、ホテル横浜ガーデンに於いて開催されました。

次いで、第五号議案任期満了に伴う役員改選について審議され、各支部から推薦いただいた方々が満場一致で承認されました。

続いて、第二号議案平成二十一年度事業計画(案)、第四号議案平成二十一年度予算(案)が一括審議され、満場一致で承認されました。

(社)日本造園建設業協会 神奈川支部 第三十三回通常総会開催

(社)日本造園建設業協会 神奈川支部第三十三回通常総会が五月二十二日ホテル横浜ガーデンに於いて開催されました。

鈴木総務委員長の司会で始まり、田澤副支部長の開会の言葉、山田支部長挨拶の後、支部規定により山田支部長が議長に選出され、第一号議案平成二十年度会務報告及び事業報告、第二号議案平成二十年度収支決算報告及び決算報告が一括審議され満場一致で承認された。

続いて、第三号議案平成二十一年度事業計画(案)、第四号議案平成二十一年度収支予算(案)が一括審議され満場一致で承認、次いで、第五号議案総会議決事項の委任について満場一致で承認され、岡田副支部長の閉会挨拶で通常総会は終了しました。

鈴木会長が退任

岸本副会長が新会長に就任される



この五月二十二日の総会に於いて、私こと諸般の事情により会長職を退任させて頂きました。

永い期間、会員各位、関連団体、行政機関、関連出先機関等あらゆる多くの分野の皆さんに大変なるご指導、ご支援頂き誠にありがとうございました。在任8年間には激動波乱時期もありました。



ただいま、神奈川県造園業協会会長を仰せつかり、責任の重大さに身が引き締まる思いでございます。

鈴木前会長の識見・実力に到底及びませぬが、協会発展のため微力ではございますが誠に誠意全力を尽くしてまいりますので、副会長共々前会長同様にご指導ご鞭撻賜りますようお願いいたします。

二十一世紀は環境の世紀だといわれております。良質な環境を確保し、維持していくためには、緑は必要不可欠なものであります。

多年にわたる緑化事業の整備や造園修景に携わり蓄積した技術と経験を持つている私たちがみどり豊で潤いのある環境の創出に力を合わせて取り組んでいくことがいま求められています。

選出にための第一理事会が開催され小嶋幸次郎選出委員長のもと審議され、副理事長に甘利憲一氏、長谷川寿雄氏、高橋成年氏三名が再任され、理事長は神造協

続いて、第三号議案平成二十一年度事業計画(案)、第四号議案平成二十一年度収支予算(案)が一括審議され満場一致で承認、次いで、第五号議案総会議決事項の委任について満場一致で承認され、岡田副支部長の閉会挨拶で通常総会は終了しました。

退任挨拶

長年の温かいご支援ご指導に感謝

鈴木 一松

ここに改めて感謝いたしております。

後任には協会に精通している岸本和好様に、お引き受けいただきました。みずみずしい感性、すぐれた判断力、現代のニーズを備えた、理想的なリーダーと申せ

最後にありますが、皆さんのご健闘と、なお一層の飛躍をお祈り申し上げます。重ね重ね皆さんのお力を改めて感謝申し上げます。

続いて、第二号議案平成二十一年度決算報告及び監査報告が一括審議され満場一致で承認されました。

続いて、第三号議案平成二十一年度事業計画(案)、第四号議案平成二十一年度予算(案)が一括審議され、満場一致で承認されました。

続いて、第二号議案平成二十一年度事業計画(案)、第四号議案平成二十一年度収支予算(案)が一括審議され、満場一致で承認されました。

続いて、第二号議案平成二十一年度事業計画(案)、第四号議案平成二十一年度収支予算(案)が一括審議され、満場一致で承認されました。

競争勢力の激しい追い打ち等予測もなかった経済の低迷、国内需要の激減等、ここに改めて感謝いたしております。

最後にありますが、皆さんのご健闘と、なお一層の飛躍をお祈り申し上げます。重ね重ね皆さんのお力を改めて感謝申し上げます。

今日、サブプライム住宅ローン問題に起因する未曾有の世界同時金融危機によりあります。

続いて、第二号議案平成二十一年度決算報告及び監査報告が一括審議され満場一致で承認されました。

続いて、第二号議案平成二十一年度事業計画(案)、第四号議案平成二十一年度収支予算(案)が一括審議され、満場一致で承認されました。

続いて、第二号議案平成二十一年度事業計画(案)、第四号議案平成二十一年度収支予算(案)が一括審議され、満場一致で承認されました。



山田支部長挨拶

総務・厚生委員会

Table with 3 columns: 支部, 氏名, 事業所名. Lists members of the General and Welfare Committee.

情報委員会役員一覧

Table with 3 columns: 支部, 氏名, 事業所名. Lists members of the Information Committee.

教育研修委員会役員一覧

Table with 3 columns: 支部, 氏名, 事業所名. Lists members of the Education and Training Committee.

樹木資材委員会役員一覧

Table with 3 columns: 支部, 氏名, 事業所名. Lists members of the Tree and Material Committee.

協会・役員一覧表

◎部会長・委員長

○副部会長・副委員長

相談役 生駒 武敬 戸 塚 生駒造園土木(株)

相談役 田澤 幸作 横浜南 (株)田澤園

相談役 下田 勇 横須賀 (有)太陽造園

相談役 鈴木 一松 旭 (株)みやした園芸

協会役員一覧表

Table with 4 columns: 役職名, 氏名, 支部名, 事業所名. Lists association officers and their details.

支部長一覧

Table with 3 columns: 支部, 氏名, 事業所名. Lists branch heads and their details.

組合役員一覧表

Table with 4 columns: 役職名, 氏名, 支部名, 事業所名. Lists union officers and their details.

公園緑地部会役員一覧

Table with 3 columns: 支部, 氏名, 事業所名. Lists members of the Park and Greenery Division.

庭園部会役員一覧

Table with 3 columns: 支部, 氏名, 事業所名. Lists members of the Garden Division.

県域青年部会役員一覧

Table with 3 columns: 支部, 氏名, 事業所名. Lists members of the Prefectural Youth Division.

作庭塾 庭守研修報告

庭守会 会長 荒川 昭男

九十五才の庭師は

今も現役

新たに立ち上げた作庭塾庭守の勉強会は、会員の協力のもと充実した内容で、しかも事故もなく予定の一年が終了した。

その締めくくりとして総勢十五名で、穴太石積みと重森三玲の庭をテーマに大津坂本と、京都に研修旅行へ行って来ました。

四月五日新横浜を早くに出発したことが幸いし、比叡山坂本に着いたのは昼にはまだ早い時間。伝教大師最澄が開祖の天台宗延暦寺の門前町坂本は、琵琶湖の西岸に位置し、朝鮮半島との交易舟が行き来した日本海と、奈良、京都を結ぶ交通の要衝として栄えたとのこと。流通を担う坂本の馬借は、室町時代には蜂起や一揆を度々繰り返すほどの力を持っていたらしい。

延暦寺が織田信長の宿敵浅井、朝倉に組したとの口実により、元亀二年(一五七一年)九月織田軍の攻撃を受け、延暦寺の塔堂伽藍と共に坂本の町も灰燼となる。その戦いで数千人の死者が出たと伝えられている。信長の比叡山攻め以後、山上(山坊)の僧は山を下り、居住のための里坊が増えると同時に坂本の町も復興したとのこと。

最初に訪ねた吉田造園の資材置場では、山積みされた貴重な吉野石と、関東ではなじみの薄いチャリ石等を見学した。チャリ石は、敷いて積んで差石に直し、大きな石は景石に良しの使い勝手に幅のある重量感を持った石です。

また、硅石と石灰岩の層模様が特徴の伊勢の鎧石も、参加者にはめずらしい石でした(①)。

大正三年二月生まれの昌寅氏が、現在でも脚立に上がり仕事をしている話に一同驚きつつ、屋敷前に造られた昌寅氏の力作である石積みや、石組をカメラに収め、昌寅氏と社長の茂氏に丁寧に話を述べお別れをした(②)。因みに昌寅氏は私の師匠である。昼食は行を終えた僧侶の、衰弱したからだを気遣った食事が始まりと伝えられている「鶴喜そば」で舌づつみを打つ。

次に訪れたのは、慈眼大師の南海の廟所である慈眼堂。南海は徳川家康、秀忠、家光の三代将軍に仕え、比叡山の復興と江戸上野の東叡山寛永寺の創建に力を尽くした大僧正です。一〇八才の長寿を全うし家康、家光と同じ日光に葬られています。南海の座像が祀られている廟の前庭には、笠、火袋、竿が四角で中台と基礎が丸い独特の石灯籠が、十数基合掌するかの如く静かに立っている(③)。敷地内西側の高台には、天台宗開祖伝教大師最澄の最大の支援者桓武天皇の、奈良二上山凝灰岩で造られた大きな宝塔や、和泉式部、紫式部そして歴代の座主の供養塔が、宝篋印塔、五輪塔、無縫塔などの造りで並んでいる。

時代の流れによって風化しながらも、温和な表情の阿弥陀の石仏に見送られ、静寂漂うお霊

屋を後にする。江戸時代末期まで、天台座主の住居であった滋賀院の門を抜けると、穴太積みの石垣が門を囲むように築かれている(④)。

穴太衆が文献に最初に登場したのは、比叡山が焼打ちにあった五年後の、天正四年(一五七六年)信長による安土築城、又は醍醐三寶院の普請(一五七七年)といわれている。穴太衆の祖先は、最澄と同じ朝鮮からの帰化人で、朝鮮の穴太族とのこと。六六三年天智天皇のころ、百濟救済のため朝鮮半島に渡った大和朝廷軍は、白村江(はくすきのえ)の戦いで唐、新羅の連合軍に敗れたが、そのとき百濟の貴族、文化人、工人が日本に渡り帰化したといわれている。

坂本に住み着いた穴太族の、石垣積みの技法を持つ人たちが、七八年から始まった最澄の延暦寺の前身である比叡山寺創建に加わり、穴太石垣積みの基礎を成したと伝えられている。戦国時代から江戸初期にかけて、全国に次々と城が築かれた。その多くが穴太の地から城石垣積みに出かけた穴太の手によるものといわれている。現在坂本で唯一一人の穴太衆として、石垣積を継承している粟田さんの祖先も、四国に石積みに来ていた穴太衆について四国から坂本へ移住したとのこと(⑤)。

穴太積みの技法は 朝鮮より伝わる

徳川二代将軍秀忠の一国一城令が制定されると、穴太衆の城石垣積は激減するが、河川や港湾等の土木工事に穴太の技法は生かされたとのことである。坂本は石積み町の町として観光客を呼び込んでいるが、特に里坊が建ち並ぶ辺りは、どちらを向いても穴太積みである。その里坊のひとつ律院の庭を拝見した。

千日回峰行を成し遂げた住職の叡南俊照阿闍梨様は、相変わらずの艶やかな、お顔でお元気な様子。比叡山を源とする大宮川の水を引き込んだ、浅い流れの庭をお茶をご馳走になりながら拝見する(⑥)。

信長の比叡山攻めるときには、山上で殺された人々の流した血で、この大宮川の水が何日にもわたって赤く染まったと伝えられている。重要文化財に指定されている二宮橋、走井橋、大宮橋の通称日吉三橋には参加者一同圧倒されたようだ。勾欄、橋板、桁石、桁受、橋脚のすべてが細工された巨大な花崗岩で組まれている。比叡山攻めの際、信長の命に従った殺生の罪滅ぼしのためかどうか知らないが、天下人になった秀吉がこの石橋を寄進した(⑦)。坂本から宿泊先の蓬萊神仏思想の「蓬萊の庭」他に「曲水の庭」等がある。どの庭も、作庭活動終焉の庭とは思えぬ、すべての石の個性が力強く表現されている(⑧)。

神仏から現世に 遣わされた作庭家

研究二日目にまず見学したのは松尾神社。松尾には立石づかいで知られる重森三玲の庭がある。七十八歳で亡くなるまでに三〇〇を超える作庭活動の最晩年の庭。松尾には、神が宿る磐座(いわくらは)を表現した「上古の庭」、蓬萊神仏思想の「蓬萊の庭」他に「曲水の庭」等がある。どの庭も、作庭活動終焉の庭とは思えぬ、すべての石の個性が力強く表現されている(⑨)。



②95才にて未だ現役の庭師吉田昌寅氏



①現在では入手がむずかしい独特な模様の守山石



④滋賀院門跡の苔むした穴太積



③慈眼堂石灯籠

元和一年(二六一五年)



⑥延暦寺里坊律院の遺水の庭



⑤叡山坂本駅前の豪快な穴太積



⑧日本最大の関寺の牛塔



⑦秀吉寄進の花崗岩で組まれた日吉三橋

ところで重森三玲が最初に手がけた庭は、昭和十四年の京都東福寺である。東西南北にそれぞれ異なる庭が、方丈を囲むように造ら



◎松尾大社「蓬来の庭」重森三玲氏晩年の作

れている。その四庭のうちで、私が魅かれるのは南庭の枯山水。丹波の長石や、穴が特徴の庭湖石等を組み、中国の渤海湾に浮かぶと伝えられる神仙島を表現しているらしい。

四〇年前初めてこの東福寺の庭を見たときの衝撃は、今でもその強さを失わず私のからだに残っている。

松尾の庭は過去何度か拝見したが、いつも考えることがある。これは私の勝手な解釈だが、何かを造りあげる芸術家とか職人は、処女作と晩年の作を比べると精神的支柱は別にして、現象的な面は変化があつて当然だと思つてゐる。

しかし東福寺と松尾では、処女作と晩年を比較して大きな違いを見出すことができないのである。重森三玲が表現しようとした神や仏は、不動であり永遠的なものであるがゆえに変わらないのだろうか。何年か前、京大近くにある重森三玲の

自宅を訪ねたことがある。毎日眺める自宅の庭は、立石の強烈な個性を控えめにした、さぞかし静かな庭であろうとの勝手な想像は打ち砕かれた。あの独特の石づかいは、重森三玲の生活というか人生そのものであつて、私の理解の域を超えていた。

話は少し横道に逸れるが、私は印象派の絵が好きである。その中でもモネとセザンヌにひかれる。二人とも連作がある。モネは睡蓮、セザンヌはサント・ピクトワール山。パリ中心部のチュイルリー公園にオランジュリー美術館がある。地下の円形展示室でモネの描いた睡蓮の絵を、初期から晩年まで観られるようになってゐる。視力の弱くなつた晩年に描かれた水蓮は、花というよりも散らかつてゐるゴミのように見えた。

マルセイユから一日二本のローカルバスに乗り、サント・ピクトワール山を見に行つた。セザンヌがキャンバスを構へたと思しき場所に腰を下ろし、ほぼ一日山を眺めていた。石灰岩の塊のサン・ト・ピクトワール山は、山というよりも氣勢を持った景石のように私には見え

た。いや景石より磐座と表現した方が正しいかも知れない。しかし晩年、からだの衰えたセザンヌが描いたサン・ト・ピクトワール山は描き始めのころの山とは違い、はつきりした稜線は消え、山のイメージとは程遠い絵になつてゐる。二人の晩年の絵から共通したものを感じてゐる。それは、自分が描きたいから描くという情念のよくなものかも知れない。モネもセザンヌも、観る側に立ち対象を描くなどということとは考えなかつたようだ。花がゴミにならうと、山がぼやけようど何しろ描ければ良かったのだから。それに対して神や仏を表現するのに、勝手な表現の姿は許されないと、重森三玲は考えたのかも知れない。神や仏から、この世へ使われた終生変わつてはいけない使命感のような強い気持ちで、重森三玲は抱いてゐたようだ。したがつて東福寺と松尾から異なる印象を、感じなくても仕方がないと私は思つてゐる。

ともあれ、重森三玲は自分が作庭したもの、神や仏をはつきり表現出来るうちに世を去つた。松尾をあとにして大徳寺の高桐院に向かつた(⑩)。

高桐院の目的は、細川三斎公の灯籠墓石と、朝鮮出兵の際に藤清正が持ち帰つたとされている王城の礎石。石灯籠は鎌倉時代の作

と伝えられているが、石造美術家の川勝政太郎は、南北朝時代の奈良系の特徴を有していると述べてゐる(⑪)。

高さ六尺あまりの近世の取れた上品な造りで、所持していた利休が秀吉の所望を退けるために、わざわざ笠の蕨手(わらびて)を欠き三斎に譲つたと伝えられている。王城の礎石は、宝塔の塔身の細工を施し、袈裟型の手水鉢として降り蹲踞で組まれている(⑫)。

庭守の実技講習でいつの日か、降り蹲踞を行いたいとの予定があつたので良い参考になつたのではないかと。今回の研修では以上のか。今回の研修では以上の他に、今宮神社において構成鉢物が葦青石(きんせいせき)と黒雲母の通称「コメ真黒」と呼ばれる珍しい石を見た。研修の最後に

鷹ヶ峰の「しようざん」で樹齢四五〇年の台杉や、良形の吉野石をふんだんに配石した流れを見学した。今まさに満開の桜の中での研修が、参加にどれほどの参考になつたか知ることは出来ないが、ひとまず「庭守」初めての研修は無事終了した。



⑩大徳寺高桐院山門前にて



⑫大徳寺高桐院の袈裟型の降り蹲踞



⑪大徳寺高桐院墓地内の細川三斎公灯籠墓石

皆さんご苦労様でした。

比叡山の裾に広がる樹林は、いつ訪れても爽やかである。樹林のあちらこちらに、注連縄(しめなわ)が張られた磐座(いわさか)の、地元磐境(いわさか)の、地元では白石と呼ばれる花崗岩や社が点在している。

山上(やまがみ)には、京都御所の表鬼門の守りとして東塔、西塔、横川のエリアに別れた、天台宗総本

山延暦寺の塔堂伽藍が歴史を背負つて建つてゐる。ただし、爽やかなこの辺りは、全国に三千八百ある山王総本宮の内路。

その日吉大社の神体山である八王子山の参道口でもある。したがつてこは、神と仏が共に鎮座する聖域になる。伝来の仏教と、自然信仰の結合である神仏習合の領域。聖域には、天端に切妻屋根をのせた山王鳥居とも、惣合(そうごう)鳥居とも称する日吉大社独特の珍しい鳥居が建つてゐる。高さ一〇メートルはあるだろうか。実に堂々としてゐないかと思ふ。

内容が夢窓の話になるが、純粹禅の立場の人々は、夢窓の禅は坐禅を重視しながらも、理論的、説明的であり、教典や文学から離れたような気がする。

着いた気持ちになれる。洛中の喧嘩な環境に伽藍を配し、名庭を築いた建仁寺、妙心寺、大徳寺等の臨濟宗の各寺院とは、異なる別の世界である。夢窓疎石が黄金時代を築いた臨濟宗は、数多くの名庭を造り残してきたが、それとは対照的に天台密教は、作庭には臨濟宗程関心を示さなかつたと伝えられている。

相阿弥作と伝えられている青連院は、数少ない天台寺院の名庭である。他に梟の手水鉢で知られる曼殊院、独特の石灯籠が立つ蓮華寺、大原の三千院と庭が有名な天台寺院もあるが、臨濟寺院の数には及ばない。

仏教に関して不勉強な私がこのこの様なことを述べらるのをおこがましいが、天台密教は、もともと作庭の意志を必要としない土壌に、成り立つていたのでないかと思ふ。

以前、専門書の中で、平安時代の歌人源俊賴の、「石はさもたてける人の心さへかたかと有てみえもするかな」という歌があることを知つた。この「石」という題がついた唄の意味は、石組のなかに人柄、あるいは才能があらわれる。つまり、石組みは人をあらわすとの意味なのだが、この歌を知つたときまず夢窓を思い浮かべた。同時に、橘俊綱は「作庭記」を誌したがゆえに後世に名を残したが、平安貴族や文人達の多くが庭に深い造詣を持つていたのだからと考えさせられた。平安の人々の庭への思いは、移り行く歴史の中で夢窓に受け継がれ、更に変容し臨濟寺院で枯山水が誕生した。禅の教義から逸脱したとしても、自己主張を貫いた夢窓の石に対する姿勢に親しみを抱くと共に、僧侶が何故「石立僧」になつたのか、娑婆世界に住む私にも最近少しだけ見えてきたような気がする。

着いた気持ちになれる。洛中の喧嘩な環境に伽藍を配し、名庭を築いた建仁寺、妙心寺、大徳寺等の臨濟宗の各寺院とは、異なる別の世界である。夢窓疎石が黄金時代を築いた臨濟宗は、数多くの名庭を造り残してきたが、それとは対照的に天台密教は、作庭には臨濟宗程関心を示さなかつたと伝えられている。

「神奈川のみどりを創り、育てる」集い開催

第三十五回神奈川県造園業協会通常総会終了後、「かながわのみどりを創り、育てる」集いが開催されました。

第三十五回神奈川県造園業協会通常総会終了後、「かながわのみどりを創り、育てる」集いが開催されました。神奈川県造園業協会の任期満了による役員選任に伴い、正副会長の交代があり、新旧正副会長の紹介が、長年に亘り造園業界の発展に多大なご尽力を賜りこの度退任されます鈴木前会長より退任挨拶・謝辞があり、続いて岸本神造協新会長、山田日造協神奈川支部部長両氏による主催者挨拶に続き、神奈川県副知事羽田慎司様より、県では、神奈川の明るい確かな未来を築く

ため、「神奈川力構想」を平成十九年度に策定し、この中で「かながわのみどりにつきましては、「神奈川のみどり計画」に基づきこれまで積極的に緑地の保全や都市公園の整備に取り組んできました。

昨年度は、四公園の約一ヘクタールが、皆様のご協力のもと開園を迎えることが出来、今年度は、「あいかわ公園」で地元の伝統工芸を体験できる工芸工房村を四月からオープンしております。また、「境川湧水池公園」のテニスコートの供用開始を始め、新規拡大と再整備に取り組んでおります。

昨年、地球環境問題を主要テーマの一つとして北海道洞爺湖サミットが開催され、顕在化しているヒートアイランド現象への対応などこれまで以上にみどりの量の確保はもろんのこと、質の面からも魅力ある公園緑地の保全や創出、街路樹の適正な維持管理などの取組みが必要になると認識しております。優れた技術と豊富な知識・

様方には、どうか引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、四月十九日には、皇太子同妃両殿下ご臨席のもと、第二十回「全国みどりの愛護のつどい」が、国や横浜市とともに、横浜動物の森公園にて開催することができました。本集いで、全国の公園緑地を始め

とする緑の愛護団体が一同に会することで広く都市緑化の意識の高揚を図ることが出来たものと考えておりますとの挨拶があり、神奈川県議会議員連盟の出席者の紹介があり、代表として神奈川県議会議員連盟副会長松田良昭様より力強い励ましと支援の挨拶の後、幹部職員、関係団体の来賓紹介に続き、財団法人神奈川公園協会理事長小山剛司様のご発声で和やかな懇談会となりました。

力が必要でその講評が述べられた。

続いて、表彰式が行われ、山田支部長より神奈川県知事賞を小澤宏様、神奈川県議会議員賞を佐瀬仲様に表彰状と盾が贈呈され、最優秀賞一点、優秀賞一点、入選五点、佳作十点について賞状と賞金が授与されました。

公務多忙の中出席頂きました榎本与助神奈川県議会議長より来賓祝辞を賜り盛会の中閉会となりました。

今年も、神造協共催、国土交通省関東地方整備局横浜並ぶに相武国道事務所、神奈川県・横浜市・川崎市、NHK横浜放送局の後援を得て「第三回かながわ街路樹フォトコンテスト」の作品を募集しておりますので多数の応募お待ちしております。(詳細は(社)神奈川造園業協会ホームページ参照)



みどり議員連盟松田副会長挨拶



羽田副知事来賓挨拶

日頃、何気なく見過ごしがちな街路樹の四季折々の姿を写すことで街路樹の大切さを再認識してもらうため、昨年に引き続き第二回のフォトコンテストを実施したところ百六三件の応募あり、藤井英二郎千葉大学教授、大河原雅彦神奈川新聞編集局映像部カメラン、山田康博支部長の審査により神奈川県知事賞、神奈川県議会議員賞を始め十九作品が選定された。

表彰式では、大河原氏から四季の移ろいを伝えられる街路樹を守り、育てていくためには、行政の力だけではなく市民一人一人の作品を募集しておりますので多数の応募お待ちしております。(詳細は(社)神奈川造園業協会ホームページ参照)



支部長賞状・賞金授与



榎本神奈川県議会議長入賞作品閲覧



「電子納品体験セミナー」を開催

分野で多年造園業に携わるとともに、神奈川造園業協会会長等を歴任し組織の充実強化と人材育成に優れた成果をあげると産業の振興に尽くした功績により「神奈川県民功労者」として、当協会会長岸本和好氏が表彰されました。

今年(株)ニューメディア総合企画のご支援を得て公園緑地部会・教育研修委員会共催で七月二十三・二十四両日の午前午後計四回一人一台のパソコンを使用して電子納品ツール操作を体験していただきました。



「みどり行政に関する要望書」提出

(社)神奈川造園業協会と(社)日本造園建設業協会神奈川支部協同で、七月一日に自由民主党神奈川支部連合会・自由民主党神奈川県議会へ要望書を提出し、次の八項目について要望した。

要望事項として、①21世紀にふさわしい国づくりに必要な都市公園整備事業を内需拡大による造園工事の発注を②都市公園の整備や既存都市公園の再整備、緑地の保全、緑化の推進と三浦半島地域への国営公園の誘致活動の積極的な推進を③公園緑地及び道路、河川、港湾、住宅施設等のうち造園に関する整備及び維持工事は地域の実情に応じた分業造園専門業者に発注を④公園緑地の積極的な推進と緑化の活用を⑤公共施設等の緑化や屋上緑化等民間有地の緑化の積極的推進と緑化を有効なものとするため条例の制定並びに助成等の施策の拡充を⑥校庭及

び養護施設の芝生化の推進を⑦剪定枝・伐採木等発生材の受け入れ体制の整備とリサイクル処理施設への公的機関の技術支援等の強化とリサイクル製品の公共事業への積極的有効活用等流通ルートの整備並びに財政支援を⑧造園事業者の森林整備事業入札参加機会の均等化を、造園業界の大変厳しい現状をふまえて要望事項の実現に向けて強く申し入れた。

ヒアリングの中で、神奈川県議会六月定例会の代表質問において校庭の芝生化については、県立平塚江南高校と厚木高校について今年度校庭の芝生化を実施する。芝生化について業界における土壌改良や管理マニュアルの実情並びに森林整備の造園業界参入に当たっての地域条件、資格条件等の内容について論議された。



横浜マイスター見学会

大胡周一郎

梅の香りに誘われて、梅の里へ行って来ました。

三月一日、神造協金・磯支部青年部の諸氏と茨城県の水戸借楽園、西山荘と真壁の石材加工業者を見学しました。

これは、横浜マイスターの後継者育成活動の一つで、今回で五回目、最終回となります。

借楽園は、梅まつりの最中で、梅林の中は人も多く、十分な見学もままなりませんでした。

しかし、地元の業者の方

の案内で、正面より入り、杉林、竹林などを廻ると、日頃持っている梅が主体という先入観を打ち破られた感じがしました。

借楽園は、御存知の通り、水戸藩九代藩主斉昭により造園され、地域に開かれた当時としては、数少ない公園の一つです。

開園時の遺志を尊重し、今も入場無料であるのは、

もあり、火袋の内側まで、のみが当てられ、障子をはめる枠の部分もしっかり細工が施され、さすが伝統工芸士と感服しました。

見学の話題を中心に、バスの中で懇談会を宴しながら、帰路に着きました。

末筆になりましたが、今回、案内役を務めて頂きました地元の方々、石材伝統工芸士の方に篤く御礼申し上げます。また、忙しい中参加をして下さった青年部

光圀の質実剛健の気風と品格、教養の高さを感じずにはられません。

さて、今回の主な目的であった、真壁の石材加工品の見学は、地元の造園業の方の御紹介で、伝統工芸士の技を見せて頂きました。

当日、実際の作業は見られませんでした。が、工法や特徴の説明を受け、多くの石造品に触れる事が出来ました。本歌に忠実に復元されたもの



支部たより

巨木と庭園巡り

鶴見支部 情報委員 前田陽介

平成二十一年四月十二日から十三日、山梨方面へ巨木を巡ってまいりました。

浅間神社の七本杉や、諏訪神社の大杉など、日頃感じることのないほどの巨大さと、歴史を感じながら見上げるばかりでした。

なかでも実の付き方に特徴のある、本国寺のオハツキイチヨウには、自然の奥深さを感じました。

又、鶴見支部青年部会においては、五月二十四日、庭園巡りとして都内の六義園、旧古河庭園などを巡ってまいりました。

あいにくの雨模様でしたが「勉強の為」と庭園の隅々まで、拝見させて頂きました。さらに、旧古河庭園の茶室にて、茶道を体験するなど充実した研修会となりました。

樹木の診断と手当て

鶴見支部では、七月八日に樹木医横山一平氏を講師にお招きし樹木の診断と手当てについて講習会を開

催、講習会終了後岸本会長「神奈川県民功労者」受賞祝賀会を盛況裡に実施しました。



樹木医横山一平氏による講習会の模様

心肺蘇生法を学ぶ

横浜南支部 情報委員 岡本勝正

横浜南支部ではこのほど、支部および青年部共催で救命講習会をひらいた。

立秋も過ぎたとはいえ、まだ暑さの続く八月九日に、副支部長である濱田園の栗飯原氏に会場をお借りして、心肺蘇生法や自動体外式除動器(AED)の使用方を学んだ。

参加者は支部員と、その家族の方々十八名が受講した。南消防署六ツ川出張所長の葦山広志の指導により、午前九時三十分より十一時三十分までの約二時間行なわれ、講義と実習を行なった。

講義では緊急時に救命処置が行なわれた場合の救命率は約四〇%、救命処置がなされなかった場合は約二〇%に半減することなど

の応急手当の重要性、救命処置の流れ、救命処置の手順、救急車の適正利用について、一一九番通報についての注意などを学んだ。

講義後には葦山氏が、訓練用の人形を使用して救命処置の手順を解説、実演した後に、支部長を始め参加者全員が、救命処置の手順を確認して、実際に①周囲の安全確認②意識の確認③一一九番通報とAEDの搬送依頼④気道確保⑤呼吸の確認(胸の動きを見て、呼吸音を聞いて、吐息を頬で感じて)⑥心肺蘇生法(人口呼吸と胸骨圧迫)⑦AEDの装置・操作法を行なった。

訓練用の人形で人口呼吸二回、胸骨圧迫三〇回を行なうと額にうっすらと汗が

にじんだ。この胸骨圧迫と人口呼吸の組み合わせを救急隊やAEDが到着するまで繰り返すのはかなりの体力が必要であることを実感した。

AEDの操作は、電源

竹垣と水琴窟の制作

湘南中央支部 教育研修委員 石井 啓二

かねてより企画していた研修を三月二十九日(日)藤沢市の少年の森で一日をかけて実施した。研修内容は竹垣と水琴窟の制作である。十四名が参加した。

竹垣作り、水琴窟作り共に初心者が多く、竹垣では竹の切り方、割り方や、元口、末口の扱い方など、水琴窟では水滴や音響効果などの説明を行い、製作に取り組んだ。

竹垣の課題は四ツ目垣、建仁寺垣、金閣寺垣、木賊垣、竜安寺垣、大津垣と多彩に設定したが、参加者が



これらすべてを経験できなかったことが今後の課題となった。水琴窟も全員が制作に関わることはできなかったが、最後に水を流した時には、全員その音色に感嘆した。

会場は満開のソメイヨシノに囲まれていたが、参加者はサクラを鑑賞する間も



ポタンを押して電源が入ると、操作手順が音声によるメッセージによって指示されるため、落ち着いて操作すれば特に難しいものではない。

実際には訓練時のように、すべてにおいて冷静な行動や処置が取れる場面は限られても、今回の講習による救命処置の手順やAEDの操作を学習し実習してあれば、不安を感じることもなく勇気を持って行動に移れることを実感した講習会であった。

事前の準備、会場設営、片付け、飲み物、弁当の準備など横浜南支部員や青年部のご協力により、大変有意義な講習会となりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

なく、作業に集中して一日が終わったようだ。各社の若者が一同に会し、互いに学びあい、親睦を深めることができた研修会であった。今後、同様な研修を企画してほしいとの要望が多くあり、テーマや課題を検討しながら、引き続き実施していきたい。



事務局情報

(月間行事一覧) ●諸会議その他●

8月

- 1日(土) ~ 3日(月) 1・2・3級造園技能士実技試験
- 4日(火) 1・2・3級造園技能士実技試験採点公園緑地部会副部長会議
- 6日(木) 公園緑地部会総務委員会公園緑地部会副部長・副委員長会議
- 7日(金) 1・2級造園技能士学科講習会(かながわ労働プラザ)
- 21日(金) 県域青年部会
- 23日(日) 1・2級造園技能士学科・要素試験(関東学院大学)
- 30日(日) かながわ海岸クリーンアップ 県域青年部会協力(藤沢市鶴沼海岸)

9月

- 1日(火) 情報委員会
- 3日(木) 総務厚生委員会
- 10日(木) 公園緑地部会
- 11日(金) 横浜市技能まつり打合せ

●会員名簿の変更●

(平成21年度名簿)

会員名簿の訂正は今回名簿を作成しますのでそちらをご覧ください

新入会員

- 緑支部 やとやま 代表者 小島和男 〒226-0021 横浜市緑区北八朔町1061 Tel 045-932-1139
- 横浜中央 (株)大匠緑化建設 代表者 内田悟史 〒231-0861 横浜市中区元町2丁目80番地 Tel 045-681-5578 Fax 045-664-4621
- 横須賀 (株)花山 代表者 川手 勝 〒239-0835 横須賀市佐原4-1-13 Tel 046-837-6973 Fax 046-837-6974

造園技能士実技講習会

実技検定試験開催

講習会



モデル前での説明



7月18日から21日迄の4日間と26日の追加講習会が横浜農協きた地区営農経済センターに於いて開催された。1級66名、2級46名、3級3名計115名の受講生は10名の指導員の熱心な指導を受け大汗をかきながら一生懸命取り組んでいた。

1級指導風景



2級指導風景



要素模擬試験



講習会全景

8月1日から8月3日迄3日間実技検定試験がおこなわれた。今年には天候不順で一時雨などもありましたが無事終了しました。今年の検定受検者は、1級103名、2級117名、3級69名計289名で検定員・補佐員の見守る中、これまでの研鑽と日頃培った技を発揮すべく暑さ忘れ一心不乱に作業に取り組んでいた。

協会の一大事業である実技講習会、学科講習会、検定試験に携わっている関係者の皆様のご尽力とご苦労に感謝申し上げます。

検定実技試験

1・2級造園技能士学科講習会を開催

8月7日かながわ労働プラザにおいて1・2級造園技能士学科講習会を教育研修委員会4人の講師により午前・午後と造園施工必携とサブテキストを基に熱心に講義が行われ、1級40名、2級32名計72名の受講生が真剣にメモを取っていた。



講習会授業風景



1級受験風景



2級受験状況



3級受験風景



開始前説明



1級検定採点